

木馬会会報 (第30号)

＊安田記念特集＊

～木馬達の予想～

本誌 TP

安田記念

◎…ネーハイシーザー ○…タイキブリザード ▲…サクラチトセオー

△…ホッカイセレス、ビコーペガサス、マチカネジンドアイコ、メイショウユウシ

予想者の屁理屈～

ネーハイシーザーという馬は中距離のスペシャリストである。個性派・ダイタクヘリオスと非常に似たイメージがある。で、あるから2200では長いし、1400では短い。そして左回りが滅法得意である。すべての条件が揃った今回こそが狙い目である。最近では押さえる競馬が板に付き、展開的にも外国の実力馬やオギティファニーなどの先行馬が揃い、その直後のポジションを確保できそう。完全な逃げ馬がいなかったため、無謀なHペースにはなりそうもなく、イメージ的にはH5年のヤマニンゼファーの勝った安田記念のようなレースができそうである。結構自信をもってお勧めしよう。

安田記念はここ最近大荒れだが、その理由は外国馬がほとんど先行馬であることにある。先行して押し切ろうとするから、前がごちゃつき、気楽に乗られている調子のいい馬がすっ飛んでくるのである。ヤマニンゼファー程の能力があれば押し切れるが、今回そういう馬はいない。展開的にはやはり差し馬が有利になろう。そこで対抗にはTブリザード。前走味な競馬をして圧勝。1600の経験はないが、掛かる気性、スピードが優れているところから見て何等問題はないとみる。単穴にはしょうがないからSチトセオー。末脚温存策を取ればいっきに突き抜けるだけの力はあるが、何しろ鞍上がフツシ。末脚に賭ければという条件付きでは本命には押せん。以下連穴には追い込み馬を取り上げた。Hセレスは府中得意。Bペガサスは本当に強いのかどうかまだわからないが、取り合えずGI2着の実績があるので押さえる。Mジンドアイコも買っておきたい。一番調子に乗っているのがMユウシだが血統的（父エプロス）に不満がある。

ところで、今回の外国馬だが、ここ2年に比べて格が下なことに加え、先行馬が多く、前走で底を見せた感じで全部消し。オギティファニーはバクシンオータイプ。あそこまで強いかわからないが、1200がベストの馬。1200なら一番強いと思うが。

さて、今週の提言は、

ダイタクヘリオス + ヤマニンゼファー =
ネーハイシーザー

私の回収率と同様にJRAの売上も伸び悩んでいるが、やはりスターホースがいないと売れないのである。今までスピードを重視してきた弊害で、JRAはいいかげん馬場コンディションを見直すべきである。現在の回収率：66.4%

予想者 へな

安田記念

◎…タイキブリザード

○…ホクトベガ

▲…メイショウユウシ

△…トーヨーリファール

△…イナズマタカオー

△…ダンシングサーパス

…予想者の屁理屈…

上位人気の実力馬達に不安な点が多い今回の安田記念。狙いはズバリ新勢力の台頭である。本命は大器ブリザード。4歳だった昨年のこの時期には、西のブライアンに東のブリザードト言われていたほどの評判馬であり、実際にまだ完成途上の4歳夏に、古馬にまじっての函館記念で、当時絶好調だったホクトベガ等を破っての2着しており、相当な実力を持っているといえよう。ただ、非常に気性の勝った馬で、福島民報杯のようにボカることもあるが、5歳になって馬体も気性も確実に成長しているはずで、休み明け2戦目の今回こそが絶好の狙い目で、めでたく第一線へのデビューとなるに違いない。久々の神様仏様岡部様の騎乗も最高で、連闘で人気薄だったあのバンプメモリーを第一線デビューさせた岡部様の手綱さばきが大いに見物である。

対抗は、京王杯で一番内容のある走りをみせたホストベガ。前走に比べて何かと有利な点が多く、連がらみの可能性なら一番高いかもしれない。GI馬で格的にも上位だし、やっぱり追い込みが一番似合う横典も心強い。

穴中の穴なら1500万を勝ったばかりだがメイショウユウシ。今回のテーマ“新勢力の台頭”に一番ピッタリなのはこの馬かもしれない。昇級の壁が一番高いとされる1500万を前走いとも簡単にクリアしたあたりに、ものすごい可能性を感じざるをえない。重馬場で1400を1.21.7はとても優秀で、センス良く好位につけ鋭く差すという自分の型をもち、絶対的なスピードのあるこの馬は、もしかしたらとてつもない実力馬かもしれない、最大の穴馬の資格十分だろう。

△には前走内枠の為に自分の競馬ができず、人気とは正反対の着順だったトーヨーとイナズマ。人気の落ちる今回はオイシイかも。ダンシングはもっと重い印をつけたかったが、軽すぎる調教に？がつき押さえまで。

本命無き戦いが続く今年の春のG I。安田記念もしかりである。こういうメンバーだと、万馬券への期待がふくらむ気持ちもわかるが、3年連続万馬券が続いている今年の安田記念はおそらく中穴程度におさまるだろう、というのが筆者の考え。こういう混戦のメンバーほど、えてして万馬券は出ないものだ。…と前書きはこの程度にして。

それにしても、G I級のメンバーが不在の難解なレースだ。こういう時は深く考えず、調子、距離適正、思い入れの3つの要素を勘案して決めるのが一番。ということで本命はタイキブリザード。もともとスピードに任せて走っていた馬、マイルも合うはず。全走福島で半年ぶりの休み明けを快勝し、気性、折合難にも進境地を見せた。何といっても4才時の毎日杯でのG前の豪脚の再現を期待したい。

次にビコーペガサス。柳田調教師がかねてから本格化は5才になってからの談。休み明けをダートで大敗しているものの、スプリンターSなどG Iでも好走しており（このレースは1点で取っており筆者の思い入れも厚い）、叩き2走目の今回は期待できる、このメンバーでは力は上位は明らか。

次にホクトベガ。この馬は、この手薄なメンバーで数少ないG I馬。Sチャンプ同様、全幅の信頼ができない馬だが、ハイペースが予想される展開を考えると期待できる1頭だ。

この3頭にサクラチトセオーを押さえる。ローテーション的に疑問が残るが、なんといってもマイルのレコードホルダー、底力に敬意を評す。

この4頭のボックス買いが筆者の本線。

外国産馬は、昨年に比べ実力的に落ちること、昨年の例をみても外国馬の滞在競馬による体調維持がいかに難しいか、が明らかで絶対にいない。

- ◎ タイキブリザード
- ビコーペガサス
- ▲ ホクトベガ
- △ サクラチトセオー

◎…ホクトベガ ○…サクラチトセオー ▲…オギティファニー

△…エンペラージョーンズ、ネーハイシーザー、ホッカイセレス

～予想者の屁理屈～

ノースフライト、ベガ、スターバレーナ、ユキノビジン。幾多の名品を並ぶ間もなくさし切った女王の意地が府中のターフで炸裂!!

G I 3連敗の春はいと寂し（財布が）。天皇賞はPRJCT（プロジェクト）評価値重視で予想と宣言しながら評価値トップのライスシャワーを4番手に、最下位のアルゼンチンangoを単穴にするという愚挙に出て失敗。7枠に狙い馬が同居したので枠連勝負と思いながら2-7は雀の涙程度で大マイナスを食らってしまった。京王杯スプリングCもせっかく枠連でいったのに7枠は10年間死枠であったため外したのでさっぱり。調子が悪い時はこういうもの。しかし、競馬ファンというのは不思議なもので、自分で『絶不調』とわかっていながら、月曜日になるとすぐに今週のレースの予想を始めて、そしてすっかり勝てる気分になってくるものです。私はなかなか放牧には出られません。

不調の悪あがきのせいで、天皇賞後の青葉賞、オークスTR、NHK杯、京都4才特別と全敗。これでは、荒れる安田記念は当たる気がしません。したがって私の予想の目は外して狙って下さい。ただ、私自身は真面目に予想しますので念のため申し添えます。

今週は気分を変えて、出張のついでに13日に東京競馬場へ行ってきます。

安田記念

◎サクラチトセオー ○トーヨーリファール ▲ドゥマーニ △ホクトベガ

[予想の目は上位4頭のBOXでお願いします]

△ビコーペガサス 注ハートレイク

	PRJCT評価値	
ホクトベガ	0.20	評価値が高いがスピード競馬に一抹の不安
サクラチトセオー	0.35	マイルオーだ
ドゥマーニ	0.40	東京コースが合う
トーヨーリファール	0.45	4才のNZTの再現だ
ネーハイシーザー	0.55	前走の負けっぷりが気に入らない
エンペラージョーンズ	0.65	ここ本番も
オギティファニー	0.65	未知の魅力も
ビコーペガサス	0.80	底力あり、アルファより断然上
ハートレイク	0.90	武騎手が去年の雪辱に燃える

毎年万馬券となる安田記念。今年もまともには収まりそうもない。

昨年は5才牝馬同志の1、2着。5才同志の翌年は必ず6才馬が必ず連にからむ。さらに言えば6才-6才で決まる可能性が非常に高い。やはりビワ、ウイニング、タイシンの世代は最近では最も強い世代である。今年の5才馬はブライアン1頭が抜けている。春の天皇賞で5才馬が優勝どころか連にも絡まずインターライナーの4着がやっとという状態は全く弱いとしか言いようがない。したがって日本馬の5才馬は消しである。オギティファニーやイナズマタカオーがこれに当たる。ビコーペガサスは外国産馬だけに微妙。

そうということで、強い6才世代から、サクラチトセオーとトーヨーリファールをまず挙げる。サクラチトセオーはマイルは4戦4勝の日本レコード保有馬。昨年どうしてマイルCSに出走しなかった（富士S1着）のか不思議であるが、マイルオーにふさわしい馬だ。小島騎手が直線まっすぐ走らせさえすればスカッと抜けるだろう。ただし何度も言うがサクラ-小島のコンビは良馬場が絶対条件となる。

トーヨーリファールは3強ダービーを尻目にNZTを楽勝した馬。前走は3角から4角にかけて内に詰まって出れなかった。NZTのように外に出せば直線伸びる。とにかく絶好調。大穴の主役の期待も大きく、豆券で総流しをかけておく。

問題はやはり6才馬のネーハイシーザー。しかも2000mの秋の天皇賞馬と言えば断然なのであるが、どうもあの昨秋の天皇賞で完全燃焼してしまったのではないかと思われるような前走の負けっぷりであった。塩村騎手も今年は連対率が0.140の絶不調であり、まったく冴えない。今の東京は時計が掛かっているのも不利。マイルよりも2000m前後が合うので、本当の狙いは連続開催で馬場が堅くなり時計が異様に早くなっている京都で行われる宝塚記念である。今回は人気ほど走らないと予測する。

ホクトベガは評価値がトップで、安田記念のデータからは中距離馬や牝馬が大活躍しているので軽視は出来ないが、個人的な印象でマイル戦がどうもピンとこないので押さえまで。

それよりも、前走大穴の主役となったドゥマーニが調教も抜群の動き、大型馬なので迫力の追い切り画面をグリーンチャンネルで見ても単穴まで格上げした。ネーハイとは逆に時計が掛かる今の東京コースがほんとに合う感じだ。京王杯の1着馬の連対率は5割のデータなので軽視は禁物。ただ、去年はその京王杯の1着スキーパラダイスとノースフライトで勝負をかけて悔しい思いをした。その武騎手が乗るハートレイクはエンペラージューンズより調教で動いたので一応注意印しを打っておきました。

最後に一言。ほんとのほんとは、除外のダンツシアトルを出走させてやりたかった。

予想者 ミスターX

安田記念

◎…エリンバード ○…サクラチトセオー ▲…ホクトベガ
△…ホッカイセレス △…オギティファニー △…イナズマタカオー

状態は今ひとつらしいが◎はエリンバード。京王杯であの馬が勝つなら、ここでこの馬がきても……。3年連続万馬券の傾向から今年も……という期待をこめて。金曜の天気予報が雨なのでそれが1日遅れて土曜日が雨になり馬場がちょっと渋っていればこのままでいくが、良なら◎と▲を替えてみる。

○は実績から。セレスはいつもの位置取りなら連下はあると思う。

ティファニーも鼻にゆかなければ連下はあると思う。

タカオーは後ろからいって最後にあの脚が使えれば……。

いずれにしても条件付なのであまり熱くならないようにしなければ……。

予想者 おけらくん

4月から新しく予想に加わりました研究開発部の浦上です。どうぞ宜しくお願いします。今週の私の本命は、ネーハイ君です。主役のいない現在の競馬界で中距離の主役になりつつある彼。大阪杯惨敗も、調教の状態も関係ありません。主役になる為には、負けられません。騎手の塩村君もネーハイ君を知り尽くしているしネーハイ君も府中は得意、1600mで距離は少し短い感はあるけど、格で勝利するでしょう。相手は、タイキ君、チトセオー君、ベガさん、アルファ君、ドゥマーニ氏ぐらいで良いでしょう。

◎…ネーハイシーザー △…ドゥマーニ
○…タイキブリザード △…サクラチトセオー
▲…ビコーアルファ ×…ホクトベガ

予想者 メニーフレンズ

◎ トーヨーリファール
△ サクラチトセオー、ネーハイシーザー、ホクトベガ、ビコーペガサス、マチカネジンダイコ、エンペラージューンズ

安田記念といえば、デビューしたての武豊がバンブーメモリーに跨がり、穴をあけたレース（平成元年）やキヨヒダカ、イースイボーイ、プロケードが猛烈に叩き合ったレース（昭和57年）を思い出す。前者については、レース当時、政局は竹下総理のリクルート事件に伴う退任問題で揉めており、まさに「竹下の思い出」（バンブーメモリー）で買えばよかったとレース後、しきりに反省した。

老人の昔話はさておき、今回のレースで考えなければいけないのは、「マイル」というのはスプリンター（1200～1400m）やミドルディスタンス（1800～2000m）とは全く異質なレースであり、よほど卓越した馬でなければ1400m、1600m両方の距離適性がないことである（あまり関係ないが、かつて「春の短距離3冠（旧スプリングS…1200m、京王杯…1400m、安田記念…1600m）」を制したハッピープログレイスといった名馬さえ、宿敵のニホンピロウイナーには大事なレースは一回も勝てなかったほどである）。

また、老人の昔話に戻ってしまったが、要するに卓越した馬が不在であり、混戦が予想される今回はトライアルである京王杯の良績を全く無視し、格・調子等を考慮してトーヨーリファールから入りたい。ちなみに、データのいっても、前走の京王杯で一番人気で連をはずした馬の本番における成績は1着、3着、3着（S61 ギャロップダイナ京王杯4着、H1 ミスティクスター京王杯3着、H3 バンブーメモリー京王杯4着）とまあまあである。

（本来、単複派の私であるため、残りの馬は横一線としましたが、大阪杯－桜花賞－天皇賞と続いた私の快進撃も5月に入り、漸く衰えてきたようです。従って、あまり今回の予想もあまりあてにしないで下さい。）

第45回 安田記念

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号	馬名
		メイショウユウシ	マチカネジндаイコ	ホツカイセレス	ホクトベガ	ビコーペガサス	ビコーアルファ	ハートレイク	ネーハイシーザー	トヨリファール	ドウマーニ	ダンシングサーパス	タイキブリザード	サクラチトセオー	オギティファニー	エンペラージョーンズ	エリンバード	インディードスルー	イナズマタカオー		
		△	△	△		△			◎				○	▲							T P
		▲			○					△		△	◎					△			へなりん
					▲	○							◎	▲							覆面デスラー
																					ナニワのラッキー
						△		△	◎		○			▲		△	△				Y O
				△	◎			△						○	▲	△					ラッキー
																					ジュワイヨクチュール
					▲					○	▲			◎							四国の井崎
				△	▲									○	△		◎		△		ミスターX
																					トウインクルグンデ
					×		▲		◎		△		○	△							おけらくん
			△		△	△			△	◎				△		△					メニーフレス

	天秋	菊花	刈女	マイルC	J C	阪牝	朝日	スP	S	有馬	桜花	皐月	天春	安田	オクス	優駿	宝塚
TP	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
へなりん	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
覆面デスラー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ナニワのラッキー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Y O	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ラッキー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ジュワイヨクチュール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
四国の井崎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ミスターX	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トウインクルグンデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
おけらくん	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メニーフレス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○...~20倍 ◎...20~50倍 ☆...50倍~